

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和04年01月20日

計画の名称	南九州地域における木材産業の物流活性化計画												
計画の期間	令和04年度～令和08年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	鹿児島県												
計画の目標	本地域(西諸県・姶良・伊佐地域)においては、宮崎フリーウェイ工業団地、隼人木材流通センターといった物流拠点施設を有しており、周辺高速道路IC利用の陸上ルート、志布志港を利用する海上ルート等を活用し、海外への木材等の輸出並びに農畜産物の輸入等、1次産業を中心とした経済発展に大きく寄与している。また、令和3年度初めに宮崎フリーウェイ工業団地内に新たに高原木産物流通センターが開設されたことで、近年の国内外の国産材需要の高まりに対応し、さらなる産業・物流活動の効率化が期待される。また、宮崎県はスギの素材生産量が29年連続日本一で、鹿児島県の志布志港の木材(原木)輸出量も11年連続日本一と、両県は木材産業に関して高いポテンシャルを持っている。このポテンシャルを生かすため、本地域における拠点施設と広域的な物流結節点(港湾・高速道路IC)、木材産出地と拠点施設を結ぶ道路整備等を実施することで産業・物流活動の支援を進め、物流の信頼性・効率性を高め、さらなる産業活性化を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	610	A	610	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R1	R6	R8
1	【宮崎県・鹿児島県 共通目標】連携する南九州地域(西諸県地域、姶良・伊佐地域)における木材生産量を448,622m3(R1)から599,974m3(R8)に増加(151,352m3(34%)の増加) 【宮崎県・鹿児島県 共通目標】木材生産量 (南九州地域内の木材生産量の増加率)=(評価時点の木材生産量-過去5年平均(H27~R1)の木材生産量)/(評価時点の木材生産量)	448622m3	539097m3	599974m3
2	【鹿児島県 単独目標】鹿児島県姶良・伊佐地域(伊佐市、霧島市、姶良市、湧水町)の木材生産量を329,600m3(R1)から468,032m3(R8)に増加(138,432(42%)の増加) 【鹿児島県 共通目標】木材生産量 (姶良・伊佐地域内の木材生産量の増加率)=(評価時点の木材生産量-過去5年平均(H27~R1)の木材生産量)/(評価時点の木材生産量)	329600m3	412000m3	468032m3

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
○全体事業費に占める提案事業割合は、0%となる。○当初現況値については、データ公表時期の関係からR1とする。○その他事項については整備計画関連事項に記載。														

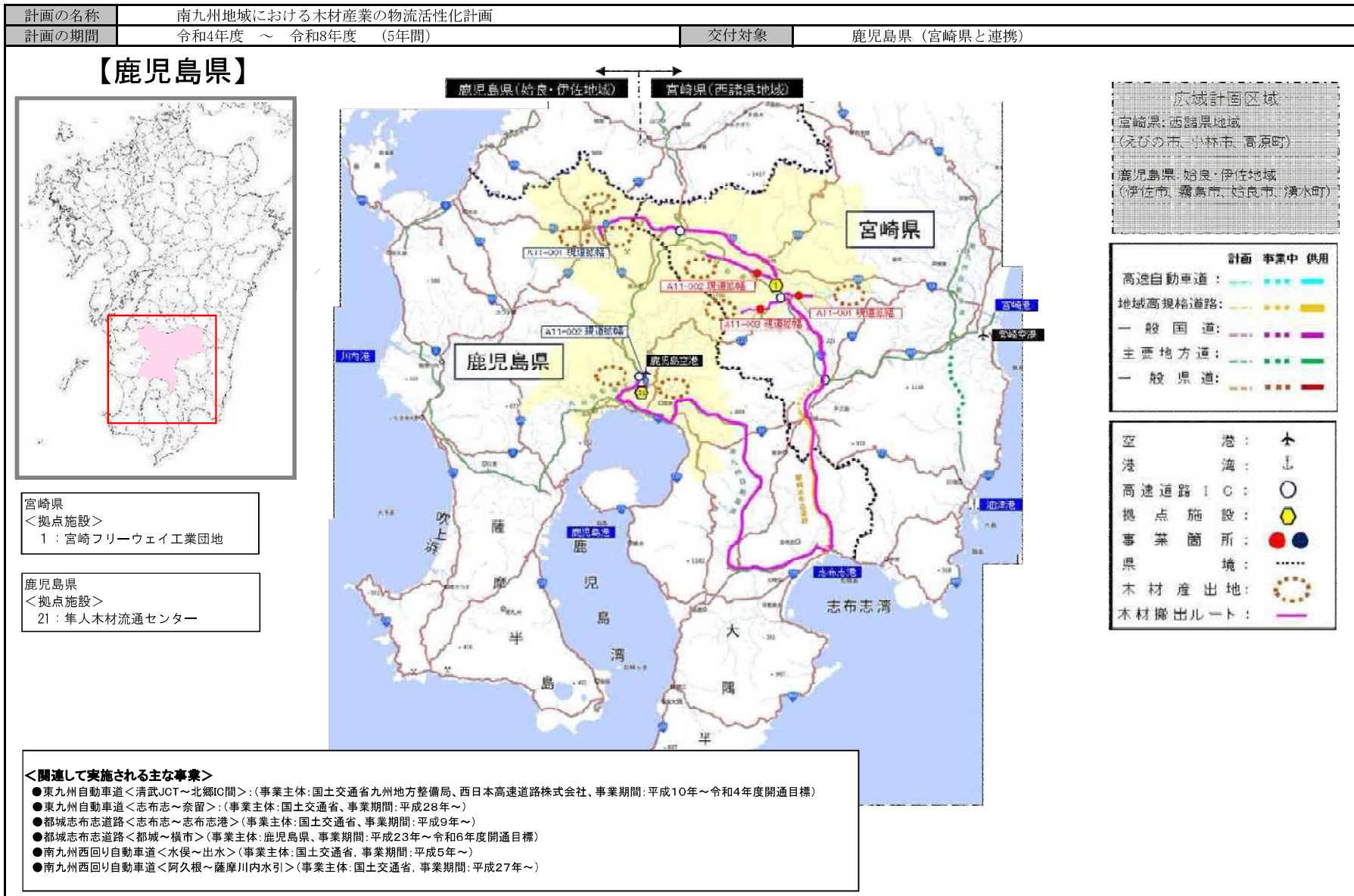
A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							R04	R05	R06	R07	R08				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
広域連携事業	A11-001	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	国道	改築	(国) 4 4 7 号 青木工 区	現道拡幅 L=0.62km	伊佐市	■	■	■	■	■	160	-	-	
	A11-002	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	国道	改築	(国) 5 0 4 号 西光寺 工区	現道拡幅 L=1.5km	霧島市	■	■	■	■	■	450	-	-	
											小計						610			
											合計						610			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05			
配分額 (a)	41	98			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	41	98			
前年度からの繰越額 (d)	0	27			
支払済額 (e)	14	52			
翌年度繰越額 (f)	27	73			
うち未契約繰越額 (g)	6	41			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	14.63	32.8			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	関係機関との協議や用地交渉等に不足の日数を要したため	関係機関との協議や用地交渉等に不足の日数を要したため			

参考図面（社会資本総合整備計画 広域連携事業）



事前評価チェックシート

計画の名称： 南九州地域における木材産業の物流活性化計画

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 ②目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○